

P・M・Aクラブ

<http://shiotafumio.com>

✉ ptcle@giga.ocn.ne.jp

しおた文男後援会

発行日/平成19年2月
住 所/築上郡築上町大字権田1671-1
発行責任者/高島 虎止
TEL/0930-57-5555

Vol.9

今年も一生懸命がんばります!



後援者の皆様とがんばろうコール(後援会事務所にて) H19.1.14

今年も宜しく

お願い申し上げます

築上町議会議員 しおた文男



有権者の皆様にとだけだけの活動実績を示すことができたか、町政に対して町民の方々の意見をどれだけ代弁できたか、自問自答の毎日でございます。

今年も立春も過ぎ日に日に春めいてまいりました。皆様方におかれましては益々ご清祥のことと存じます。私が築上町議を勤めさせていただいておりますのも、すべて皆様方のご支持ご支援の賜物でございます。厚くお礼を申し上げます。

はなはだ僭越ではございますが新年にあたり所感を述べさせていただきます。

早いもので合併も一年を経て今年の7月には合併後初の町議選が施行されます。

合併特例により議員任期も延長されましたが、今回の選挙は私にとりまして2期目の挑戦になります。とかく2期目の選挙が一番難しいとよく言われていますが

まさにその通りだと思いません。新人議員として任期中

これまで議会においての質疑内容については当紙を通じてお伝えしてまいりましたが、私にとって議会は議員活動の重要な場であると十分認識してはいますが、町政にどれだけ反映できたかで評価されるべきものと考えます。然るに今後も皆様の町政に対してのご意見やご希望をできる限り拝聴してまいります。

新生築上町は多くの課題があります。色々な住民負担の増大や基地問題、少子高齢化による福祉政策、合併による格差是正、教育や安心、安全の生活環境など議員としてやるべきことは山積しています。私は、町議として今、何をなすべきか、将来はどうすべきか、初心にもどり一所懸命取り組み組んでまいります。今後とも旧来にまさるご支援の程をお願い申し上げます。

しおた文男の議員活動報告

平成18年9月19日(火)

一般質問

電算システムについて

(塩田文男)

電算システムについて、合併前です。昨年の17年6月1日に、電算システム購入という事で2億1735万円で契約して今日に至っております。

議案質疑でも申しましたようにことあることにお金がかかる。そして、現在までの電算システムの可動状況不具合等含め、契約どおりに行われているのか。電算室の職員の仕事はどのようなことを行うのか。そして、現在SEとして常駐でこられている方々は電算室でどのような仕事を行っているのか。その辺を詳しくお尋ねしたいと思います。

(中村総務課長)

昨年、合併によりまして、電算を全部入れ替えたわけでございます。考え方は、いろいろあるかと思えますけれども、私が電算検討委員会に一応入っておりますので、その提案書から見ると私個人から考えれば、今の状況としては、提案どおりにきていないというような考え方が少しあります。と言いますのは一番先に引かかったのがデータの移行でございます。

電算会社の方から、期間が短いという事で、できないという返答

がきました。各おのおののシステム会社がデータ移行するはずだったんですけども、それも一部だけということになりました。大半が

アンクルの方が解析しながらデータ移行したという事で、そのデータ移行ミスの中でプログラムがしっかりと動いてくれないというような状況は出ておりました。

SEというのは、町に常駐するじやなくて、導入するためのSEが入っておりまして、その都度対応していくということ、それから、総務課の電算係としまして、現在4名が電算室に張りついております。大きな仕事はまず、システムを覚えていただくことです。

(塩田文男)

現在は、どうにか動いているということ、今聞きましたがSEが合併前、中村課長も検討委員会だったと思いますが、当時の委員長が、今の八野助役なんです。そのときの八野助役の答弁の中に「今までの椎田町はSEに打ち込みをやってもらっていたが、アンクルになると1年間を終えた後は、職員が打ち込みをやつてSEの常駐はいらない」という形でした。

今、聞いた中でコンピュータの立ち上げに、非常にデータ移行に苦労されたという事でSEが入ったという事はSEの費用じやなくて、これは保守メンテ、また立ち上げに伴う瑕疵責任を考えれば、どのメーカーでも1年間保証とか

いうものは発生しますけれども、この1年間のSEの打ち込みの作業は本来やらなければならぬ仕事と違ふんじゃないかと思えます。本当にSEと同等の仕事をごなせる職員がおられるのかどうか。その辺詳しく教えていただきたいと思えます。

(中村総務課長)

今、入つてますSEは二通りあります。システムを入れた上でのメンテナンス、それからバグの調整、システム上の責任でありますので、アンクルの方から何名か出て、今2人ぐらいだと思えますけれども、これも常駐じゃありませんが、その都度やつてもらつてます。

それからもう一方のSEは、うちの方で年間契約しまして電算室の方に常駐しております。

それで、私としてもちよつとSEのレベルがどうかというちよつと不満があります。ちよつと低いんじゃないかという。これも会社には言つております

そのSEにかわるべく職員を育てていきたいと考えております。私の考えでは、電算対応するには難しいことでもないと考えております。

(塩田文男)

よくわかりましたというよりも、ちよつと、あいまいなとこあります。結果的に今の契約上からいけば、SEが1年間で契約が切れるわけなんです。ね。

そしてSEが切れれば、役場にはSEも電算の関係で来られません。そして残るのはシステム保守料と危機保守料というのが毎年かか

てきます。

若干の見積もり変わったんじゃないかとは思いますが、当時の見積もりでいくと年間2826万2000円、これを保守料、要するにリースじゃないですが、そういった機械とシステムの保守という形で、平成20年近くまで、22年ですか、ちよつと忘れましたが、毎年払うわけです。

そして障害が発生したときはアンクルと契約してますんで、アンクルは「ヘルプデスクによる窓口の集約課、緊急時対応は、30分で役場に到着します」という形で提案書に書かれていました。ということは、今SEが不満という問題もありまして、ヘルプデスクのときの対応でいいのかなと思うところが、僕は逆に心配なのはSEがいなくてやつていけるのかという心配があります。

結果的に何が言いたいかといいますが、システムと機械の保守料だけなわけなんです。ということは、システムの導入という形になれば今回も400万、600万というような金額です。家一軒ぐらいが動くような金額もすぐ出てきます。今アンクルと契約して、ここには

保守料とシステム保守料払うわけです。これから新しく入れるシステムの導入費については入札で十分対応できると思えます。他の行政も入札で見積もり価格を設定してコスト削減を考えております。町長、そういった考えは、町長の考

えにはないですか。
(新川町長)
検討していきたいと思えます。

(塩田文男)

入札で、十分対応できると思えますんで、前向きに検討を是非やっていただきたいと思えます。

次に旧椎田町には自動交付機がありました。土日は職員が対応しておりますが、いつまで土日の対応を行うのか。

そして町長は自動交付機を入れる考えがあるのか。もしあるのであれば何台入れるのか。

(新川町長)

この自動交付機は、早急に入れよという指示はしておりますけど、なかなかまだ電算の方の対応ができていないという事で、入れる台数は、本庁と支所だけということになるのかと思えます。

(塩田文男)

当初、2億1000万いくらで契約したんですが、最初の契約金額でいくと2億6000万ぐらいの契約見積もりです。ということは、4000万ほどの開きがあるんですが、自動交付機の見積もりというのは執られてますか。

(中村総務課長)

確かに提案書では2億6000万うち今回2億1700万ちよつとの契約であります。その差というのが4300万ほどありますけれども、入れてないのは、自動交付機だけなので多分その金額だと思えます。そういう中で一応、見積もり執つたんですけども5600万。非常に私もこれちよつと見てびっくりしたんですけども最初、中止したときに聞いた話は、自動交付機に対してのシステムがで上がるので、

その次に入れるときは安くなるという話を聞いてたんですけども、今回、見積もりも入りますと非常に1300万ほど高いんでちょっと今考えてます。最終的に、先ほど議員さんが言われたように入札という方法もあろうかと思えますけども入札になりますと、システム会社のいわゆるブラックボックスとなった部分を開けてもらわないと次に行けませんのでデータの移行ができませんのでそこで行うのか。今、ちよつと検討中ではないからまた業者とも折衝に入りたいと思います。

(塩田文男)

皆さんどこまで御存じなのかわかりませんが、僕も少し調べたんですが実際に5000万っていうのは1台の金額ですかね：：？ 2台ですね！

大体1台平均300万から600万ぐらいだと思います。全部入れて近隣市町村で聞いても大体、1000万ぐらいで、納入されてるといふことを聞きました。

今の5000万というものも、どこでどうなったのか。アンクルとはいへ、富士通なんですよ、一流のメーカーであるしアンクルには保守と、機械とシステムの保守料をこれから払い続けるわけです。そして町長に最後、この電算については、非常に理解せえちやめても、中々判らないところではないかと思えますが、一度、この電算システムについて見直しをかけて、電算システムを考えていく考えはないかお尋ねしたいと思えますが、何

故かと言いますと、これはデータというのがお金、財産なんですよ。それが何千万単位で、かかってくる問題なんで、今の契約上では恐らく平成20何年？まで保守料を2800万ぐらいですか、毎年払わなくてはいけないです。町長、この電算システムについて見直しをして検討していく考えがあるかお尋ねしたいと思えます。

(新川町長)

電算、合併時に、導入時に、いわゆるヒアリングやりながら決定していったと。実質的にこの決定、アンクルに決定したのが、1億円安かったという事で決定して、あとのじゃサービスどうなるかというたら、若干、サービスで苦労してるといふのが現実だと。電算どうするかという形になるけれども今、債務負担行為組んでますんでこれが終わるまでやつぱり今の会社でいかざるを得ないと。そして新たに導入するときはまた契約しなおすという形になるかと思えます。基本的にやはり信頼できる形のものでいかなければ、ちよつと技術的にもアンクルでは問題があると。

電算会社任せの電算になってるといふのが、残念でたまりませんけどシステム上しようがないというようなことで今後は、やはり有利な方向でやつていくということは当然考えていかなければいけない。このように考えてます。

(塩田文男)

当初この電算システムが1億安かったという形で、僕は「電算費用はこんなもんじゃなくてももう少し値段がかかっていく」と最初に言っ

た覚えもあります。ただ、1億安いのに飛びついた結果がこうじゃないかなと思えます。そして今町長言われた中でちよつとわからないところありましたけども、アンクルと契約されたので、なかなか難しいというようなことを言われましたが、アンクルと契約したのは、最終的に残ったのは、システムの保守料だけです。今後、それに付随するものについては、必ずアンクルを通さなければいけないというルールはどこにもないんです。やはり入札でいくとなればそういう話になるし、契約上そういうことはいったつてはないと思えます。

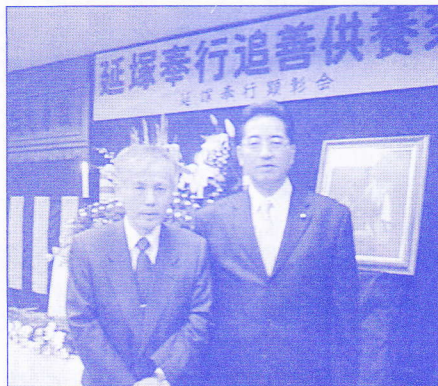
それを言われるならば、とてつもなくお金がかかってくる。今我々は、こういう電算システムというよりも、やはり町に光ファイバーが山のとつぺんまで繋いでくれば、そういう事が、村おこしというか企業とかいろいろな将来の、築上町が大きくなる課題になることと思えますけども、これを機に勉強していただきまして、そういう光が入るとか、そういうところを十分検討してもらいたいと思えます。

紙面の都合で前回の8号で掲載できなかった9月議会の追加内容です。

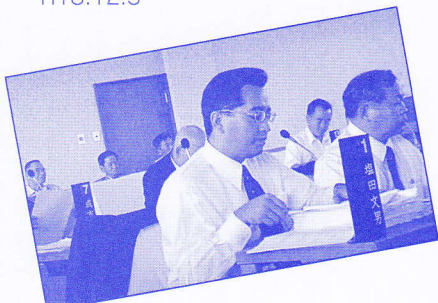
しおた文男の
地域ふれあい
スナツプ



後援者の皆様と(後援会事務所前にて) H19.1.14



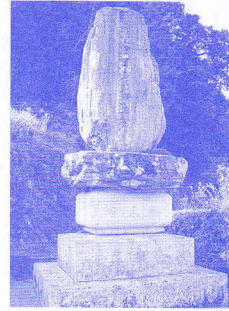
5代目延塚謙一氏と共に(延塚奉行追善供養祭) H18.12.3



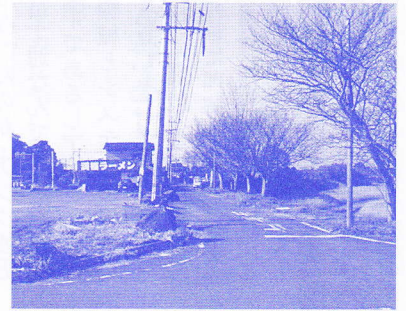
今昔・中津街道

徳才兼備

人徳と才能を併せ持っていること。人格者としての立派な行い。「才」はすぐれた才能の意。才能があり、人望の厚い人に対して使います。



▲亀田日山先生の碑
(日山は亀田熊吉先生の「号」)



▲西角田役場前通り(現在はもう松の木がありませんが、当時は松並木がありました。)

西角田村



親に向き合わない子供
子供に向き合わない教師
教師に向き合わない親
近頃よく目にするイジメや
自殺の文字と映像。
『教学半』を常としたと言わ
れる幕末の私塾では向き合
わない事など……吉田松
陰の松下村塾と並び称される、
広瀬淡窓の咸宜園で学んだ
亀田熊吉という人物を排出
した地域と時代背景を記し
てみたいと思います。
明治二十二年真如寺・小原・
上り松・石堂・上河内・河安の

六村が合併し「西角田村」が誕生。人口二千八百四十一名、戸数五百十三戸、初代村長は「有門数一郎」氏が七年勤め二代目村長は西角田村最長記録の二十四年三ヶ月村長を勤められた「本丸長三郎」氏。当時の西角田村は役場が石堂地区の旧JA西角田支所の横にあり、前の道から十号線を横断し福岡地区方面へ向かって有安地区へ……かつての中津街道であります。現在の十号線のすぐ左側は松の防風林が繁り海岸線上であったものの、昭和二十九年の椎田干拓事業計画により埋め立てられその頃の面影は旧堤防跡でしか見る事ができません。当時、西角田村最大の不幸とも言われる、明治三十七年七月八月に大水害が起こり築上郡内で西角田村と(友枝村現上毛町)が最も災害が大きく道路・井堰・溜池・河川などが損壊し村長は予算の調達、村長はじめ職員は作業服姿で村を走り回ったそうです。
本丸長三郎村長は教育にも力を注ぎ当時村立西角田尋常小学校(現在の西角田小学校)

明治三十四年児童数増加に伴い校舎増設、裁縫科の加設さらに高等科の併設、運動場増設さまざま教育行政に傾注されました。教育と言えば西角田村には上ノ河内の学徳兼備の念仏者「亀田熊吉」氏、日田の広瀬淡窓氏「咸宜園」に入門し学問を身につけ父の庄屋職を継いで屋敷の一角に四十畳敷の家屋を建てる。ここで寺小屋式の手習い塾を開き近郊の少年達の学習塾を始め私立大教「乗桂教校」漢学教師になり、豊前市の名高い私塾「蔵春園」の恒遠精齋氏とも顔を並べていたようです。余談ですが亀田熊吉氏の手習い塾で学んだ「井上吉太郎」氏は、上の河内滝ノ本橋の側で酒造業を始め屋号は「大黒屋」酒の銘柄は「若恵比須船」で地方へ出荷するなど商売は繁盛。その後政界へ進出し明治三十三年築上郡会議員さらに大正四年福岡県会議員となり県議時代は特に学校教育問題に取組み当時、築上郡には高校は「一校もなく」教育制度の充実を始終一貫訴え続け、旧築上東高校・現築上西高校・

旧築上東高校・現築上西高校が設立され彼の努力は実を結んだと言われています。百年以上の月日が経過した今日、自らが学びまたその良き教えを生涯伝え広めて行くとうとう言う生き様に改めて頭が下がる思いです。さて現在は国を挙げて教育問題が大きな課題になっています。モラルが低下した教師子供の躰が出来ない親、仮想的な世界が中心の子供。やはり躰は親が子供と向き合い、先生が子供と向き合う、そして教師と親が向き合う事から始まるのではないのでしょうか。

編集後記

宮崎県知事選から福岡市長選、北九州市長選、さらに4月の統一地方選、そして我が町築上町も7月に合併後初の町議選と今年は選挙の年であります。宮崎県の知事選のそのまんま現象に見られるような有権者の皆様の意識も変わりつつあります。地域住民が何を求めているのかをきちんと確認し対応していく実行力が今後の議員に不可欠でしょう。(S)